

ふるさと日立検定公式テキストブック改訂版 正誤表 vol.3

下記の通り訂正・変更させていただきますので、ご確認ください。(赤文字は訂正箇所)

自然編①日立市の花 サクラ P11

■日立のサクラのルーツ(1行目) 日立鉾山の塩害対策に強い… → (正)煙害

歴史編③縄文時代の交流 P63

■運ばれた石材や貝(9行目) 上の内遺跡(かみのうち)→(正)うえのうち
弓玄台遺跡(きょうげんだい)→(正)弓下台遺跡

産業編③日立製作所、上下水道を建設 P147

■困難を極めた水道工事(11行目)
宮城県白石市八宮に鎮座する郷社の水分(みまくり)神社より… → (正)水分(みくまり)神社

産業編問題 回答と解説 P162

●解答9 ①日立村字芝内の工場(旧山手工場)
明治43(1910)年12月に日立村宮田字芝内(白金町1丁目)… →(正)(白銀町1丁目)

文化編③駒つなぎのイチヨウ

問 大久保鹿嶋神社の流鏝馬を奉納したのはだれですか。

①平忠幹 ②源義家 ③佐竹義重 → (正)③佐竹義重

文化編②ほかにもある風流物

■河原子風流物

河原子の風流物は、鎮守八幡社の春祭りのご出社の際に、新地、田名保、後谷などの町内から出されました。

→ (正)天満神社

昭和37(1962)年に新地の風流物が公開されたのが最後… →(正)昭和32(1957)年

いくつかの書籍、文献等参考資料において、鎮守八幡社の春祭りのご出社と記載されており、一部で鎮守八幡社と伝わっていることがありましたが、河原子天満神社の修築記念碑に「常陸の多賀郡河原子町の鎮守の村社は天満神社と曰う」とあること、「潮風薫るまち河原子いまむかし」の中では河原子風流物は、河原子町の新地町に鎮座する天満神社の春祭り(四月二十五日)で、ご出社の際に、新地、田名保、後谷の町内から曳き出された屋台(山車)であると明記されていることに加え、新地町などで河原子風流物の人形首が大切に保存されていることもあることから、天満神社であると考えられます。

人物⑥鈴木玄淳

■鈴木玄淳の人となり(6行目)

水戸藩第7代藩主徳川治保の侍講に抜擢されます。 → 水戸藩第6代藩主徳川治保

問 鈴木玄淳は第7代水戸藩主の侍講となります。第7代藩主は次のうちだれですか。

→(正)鈴木玄淳は松岡七賢人のリーダー的存在でした。七賢人の一人である長久保赤水は第6代藩主の侍講に抜擢され、鈴木玄淳はじめ七賢人たちの大きな喜びとなりました。この時の第6代藩主は次のうちだれですか。